

# 武豊町地域公共交通会議 第22回 会議 議事録

日時：平成28年3月29日（火）

15:00～17:00

場所：庁舎2階 第2～4会議室

## 1. 会長あいさつ

### ○事務局

- ・ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第22回会議を開催させていただきます。
- ・委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・それでは、会議資料の次第に従いまして、取り進めさせていただきます。はじめに、開会にあたりまして、会長であります町長の初山からごあいさつさせていただきます。

### ○初山町長（武豊町長）

- ・こんにちは。平素はお世話になっております。第22回の交通会議に出席ありがとうございます。今年度の最後の会議です。
- ・今年度は、昨年10月に半田市へ乗り入れしました。2月にはラッピングを行っています。新たな取り組み、事業展開をさせていただきました。
- ・現時点での総利用者数は、2月末までの累計で18万772人の利用があり、前年度と比べ増えています。
- ・タクシー事業については、累計で2,825人の利用でこちらも増えています。詳細は、事務局より後ほど報告します。
- ・また、富貴保育園に出張訪問して、バスに親しんでもらう事業を行いました。公共交通の利便性のPR、生活の足として利用してもらう対応を進めます。
- ・新しく委員となったメンバーの皆さんには本日よりよろしく願いいたします。
- ・本日は、報告4件、議案2件ありますので、よろしくご審議をお願いして、挨拶とさせていただきます。

### ○事務局

- ・新しく委員として参加していただく4名に委嘱を行います。
- ・長尾部長の小縣純洋委員、大足区長小野忠次委員、富貴地区区長会長の田中康文委員です。
- ・半田警察署交通課長の八木智委員は欠席です。
- ・本日は、委任状を2名からいただいており、代理出席していただいております。4名の欠席がありますが、過半数を超える委員の方のご出席を頂いておりますので、規定に定める（第6条第3項）開会要件を満たしております。
- ・なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますので、よろしく願いいたします。

### ○伊豆原座長

- ・それでは議事を進めさせていただきます。
- ・限られた時間ですが、公共交通の利活用に資するようご意見、ご議論をお願いします。

## 2. 議事

### ●報告事項1 武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績について

- 事務局
- ・資料説明

#### ○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。コミュニティバス、タクシーの利用実績の報告です。
- ・ご質問、ご意見ありますか。昨年10月より利用が大きく増えており、良い報告です。
- ・青ルートが便当たり3人で、赤ルートと比較すると若干少ない。地域交流センターが開設され、新しい利用があると思うので期待したい。地域の皆さんで、コミュニティバスについて話題としていただき、利用を促してもらいたい。新しく就任された区長、委員さんにはよろしく願います。
- ・特に無ければ、報告を確認いただいたとしたいがよろしいか。

<異議なし>

#### ○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。

### ●報告事項2 前回会議で決定したバス停留所の新設及び運行経路の変更について

- 事務局
- ・資料説明

#### ○伊豆原座長

- ・前回会議で、承認いただいた事項です。ご質問、ご意見ありますか。
- ・ダイヤも問題なく運行できるそうです。町民には、地域交流センターの利用の際に、バス利用をPRしてもらいたい。
- ・新しい時刻表は、どこに配布しておくのか、皆さんにわかるようにしておいてください。

#### ○事務局

- ・役場ロビー、バス車内、4月1日からは交流センターに設置します。ゆめたろうプラザ等の公共施設や駅などにも設置したいと考えます。

#### ○伊豆原座長

- ・時刻表は持ち帰り可能ですので、みなさんで話題にしてください。宜しいでしょうか。

<異議なし>

#### ○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。ルート変更も心配されましたが、問題なく運行できているそうです。
- ・報告いただいたとして次の議事に移ります。

### ●報告事項3 地方創生の交付金を活用したバスリニューアルについて

- 事務局
- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。
- ・地方創生の交付金を活用シラッピングを行いました。ご質問、ご提案などありますか。
- ・子供たちからは評判が良いのではないのでしょうか。高齢者から見ても楽しそうですね。

○大岩委員（社会福祉協議会長）

- ・地域交流センターができ、停留所を設置させることに対して、観光バスとしていくのか、コミュニティバス、生活の足のバスとしていくのか、そのあたりははっきりしないといけない。町民の利することは何かを確認しておこう。

○伊豆原座長

- ・楽しく利用できるものに、病院も買い物も楽しく利用できるようにしたいですね。

○大岩委員（社会福祉協議会長）

- ・集合住宅に停留所を設けてあり、高齢者の生活の足として使われている。観光バスにしていくことで、生活の足という考えがボケないようにしたい。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・観光面では有利になった。生活の足としても機能するバスとしていく。
- ・話題にしてもらうことを心がけたい。生活の中にバスが位置づけられないと乗りたいという気持ちにならないので、住民の意識の改革に努めたいと思う。

○伊豆原座長

- ・乗りやすい楽しいバスにしていけると良いと思う。
- ・他によろしいか。なければ、みんなで楽しいバスにしていこうということを進めることを確認して次の議事に移ります。

#### ●報告事項4 平成29年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。
- ・この計画案は確定ではない。6月に国に申請します。事業の目標は、これまでの実績をふまえて設定するため、現時点では定めていない。次の会議で設定し、協議します。
- ・何かご質問、ご意見ありますか。赤ルートは、幹線系統になるため、県で申請する。県で申請してもらうということで確認しておきたい。

○愛知県代理

- ・赤ルートは地域幹線系統として、補助対象として申請手続きを行う。手続きとしては、問題はないうらうと思っています。

○伊豆原座長

- ・赤ルートの目標値について、数字を記入しておいてよいか、県、愛知運輸支局と調整しておいてください。フィーダーだけの目標値としておく必要があるかもしれません。
- ・確保維持改善事業計画は、はじめて参加される委員にはわからないことかもしれません。

- ・10月から9月までの運行経費に対する補助金申請を6月に行う。この会議で、承認したものを国に提出する仕組みになっている。補助対象路線は、幹線系統とフィーダー系統の2種類がある。幹線系統は合併前の市町をまたぐ広域の路線で、一定の利用が認められるもの。県が申請することになっている。市町は、幹線系統につながるフィーダー路線で、一定の条件について合致するものが対象で、確保維持改善事業計画を作成して申請する。今日は申請する手続きの確認と、計画書の内容について事前相談するものです。
- ・目標値や新たな事業者の選定について確認することがありますが、支局と相談して、内容をつめて、手続きを進めていただきたいと思います。不明な点があれば、事務局に問い合わせさせていただいても良いかと思えます。
- ・もしなければ、報告いただいたことを確認したとして進めたいが宜しいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。

●第1号議案 乗合タクシー停留所の新設について

○事務局

- ・資料説明

○小縣委員（長尾部長）

- ・問題ないという判断ですが、確実に設置できますか。

○事務局

- ・この場で協議いただいて問題なければ、交通事業者から国に申請して設置します。

○小縣委員（長尾部長）

- ・高齢者にとって設置はありがたい。住民の声をふまえて、速やかに設置をお願いしたい。

○事務局

- ・これまでは緑ルート of 長尾児童館のバス停があった。その近くに、タクシーの停留所を設置する。
- ・これからも地域からの声があれば設置の検討を進めるが、タクシー事業者が車両確保等できるか相談して、設置を行います。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・設置することはよいこと。要望をだすための条件をつくっているか。やみくもにつくれない。

○事務局

- ・要望についての条件など設定していない。むやみに設置できない。300mくらいの距離内に停留所がないなど。今回は以前にルート設定があったので、設置できると考えた。
- ・ルートを設置しても利用されなければ作れない。本当に利用されるということを判断しながら設置したい。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・乗りたいという意思表示、要望があれば、議論に乗せるということか。

○事務局

- ・地域の代表の区長と住民等からの要望があれば、議論に乗せるべきだと考えています。

○伊豆原座長

- ・協議を行うには、地元から声を出してもらうのが最初だと思う。
- ・警察、公安協議が必要なので、どこでも良いわけではない。要望をいただいたときに、事務局は警察、道路管理者等と協議して、検討することになる。安全が確保できなければ設置できない。
- ・今回は以前のルート上で、設置場所が確保できた良いケースである。設置が簡単に見えるかもしれないが、実は難しい。交差点から近い場所は設置できないし、バス停を設置するとその前後 10 m は駐停車禁止になる。事務局に相談していただき、地元と調整して、設置していくことになる。

○白木委員(愛知運輸支局)

- ・公安協議の結果を報告してください。

○事務局

- ・公安協議を行っており、問題ないと報告を受けています。

○伊豆原座長

- ・公安協議も整っている。停留所設置は、よろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。いつから設置できそうですか。

○事務局

- ・申請して許可をもらう手続きがありますので、具体的にいつかはわかりません。

○伊豆原座長

- ・迅速をお願いします。

## ●第2号議案 平成28年度事業計画案について

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。来年度 28 年度の交通会議の事業計画案について、ご質問、ご意見ありますか。

○櫻場委員(利用促進友の会)

- ・交通会議で提案したことを協議していくには時間がかかる。作業部会の設置をお願いしたい。
- ・公共交通の利用は、バスだけに頼ってはいけな。タクシーも活用すべきで、タクシーをもっと使いやすいようにしたい。例えば、初乗り運賃を安くしたい、免許証返納者の優遇など、提案したいことがあるので、作業部会を定期的で開催してほしい。

○事務局

- ・作業部会は下部組織として設置しているもので事業変更や事業評価の際には開催していきたい。

○伊豆原座長

- ・いろんな話をする場として作業部会を活用ください。テーマを決める時だけ開催するのではなく、いろんな話ができる場として活用しようという提案です。ざっくばらんな情報交換、利用促進などの協議をしよう。

○藤田委員（名鉄知多タクシー）

- ・当地域は安全タクシーががんばっている。料金改定を行った。初乗り料金を700円から600円にしている。免許返納者は料金の1割引きを行っている。警察が免許返納を進めており、東浦町などでは、免許返納者にタクシー券を配っている。
- ・一方、タクシー利用が集中する朝夕時間帯では、車両が確保できない状況になっている。その時間帯での事前予約は30分前ではぎりぎり、時間にゆとりをもった活用について、ご理解いただきたい。

○伊豆原座長

- ・利用される人、サービスを提供する人、自治体等、関係者間でうまく調整をすることが重要だろう。部会などを活用しながら、うまく話ができればと思う。

○森下委員（老人クラブ連合副会長）

- ・公共交通の利用先は、役場や駅だろう。地域交流センターの近くの人が役場にくるのは簡単だが、帰りは大変になる。赤は右回り、青は左回りになっている。帰りの反対回り、上りと下りの両方向に運行してほしい。待ち時間が倍になってもかまわない。

○事務局

- ・ルート変更については、平成26年度に作業部会で議論させていただいた。上り下りの案をいただいたが、アンケートや関係者の意見をもとに今の形とした。
- ・現在の税投入は理解されているが、これ以上の税負担は理解されていない。2台の車両のできる運行を考えた。上り下りの両方向にすると、待ち時間が倍になる。40分間隔が80分間隔になってしまう。待ち時間を少なくするために、片方向にした。
- ・この運行方法に10月から移行しており、利用者数も増えている。形成計画を策定して進めているが、平成30年度に中間見直しを行うので、それまで様子を見ることとさせていただきたい。

○伊豆原座長

- ・公的投資をどこまですべきかという問題。すべての要望には応えられない。
- ・森下委員の意見も理解できるが、10月に変更したばかりでころころ変えられない。
- ・たくさん利用されるのであれば、税負担が少なくなる。負担を少なくするために、皆さんが利用する意識を持っていただけるか。これからも、適切な負担についての議論を、話し合っていければと思う。
- ・網形成計画を作成しました。計画の進捗状況について、常に、報告、議論できるように、事業計画に位置付けてください。計画の推進状況を関係者と共有しておくことが重要であり、関係者と常に事業をチェックすることを事業計画に位置付けてください。私からの要望です。
- ・他にないようですので、来年度の事業計画について、ご了承いただいたとしてよろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。

### 3. その他

#### ●平成28年度利用促進事業の活動計画等について

##### ○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・基本的に平成27年度と同じ事業を継続して進める予定です。例えば、ミステリーツアーなど。
- ・スタンプラリーは3月に終了し、変更する予定。ゆめころんの56にちなんで、56番目の利用者にサプライズを提供する。事業内容を都度考えながら活動を進めたい。時刻表を家庭に掲示してもらい、意識付け活動を考えたい。

##### ○大岩委員（社会福祉協議会長）

- ・バス停の名称について。地域交流センターはどこかよくわからない。

##### ○小縣委員（長尾部長）

- ・地域交流センターは4月に開設されるので、これから浸透するだろう。

##### ○事務局

- ・利用者や地元の方にわかるように名称をつけている。
- ・具体的にわからないところがあれば作業部会などで確認します。

##### ○伊豆原座長

- ・利用者数について子供の利用が減っている。子供が話題にしてくれるような取組を期待したい。

#### ●平成27年度第三者評価委員会での報告について

##### ○事務局

- ・2月15日第三者評価委員会にて、事業評価の報告を行った。委員からは問題等の指摘は特になかった。地域交流センターの停留所の新設や、子供の利用の減少に対して富貴保育園にて出張訪問し利用促進活動を行った。平成28年度は、保育園への出張訪問など積極的に実施していきたい。
- ・ラッピングについて、専門誌のバスマガジンにて取り上げてもらったことを報告させていただく。

##### ○伊豆原座長

- ・バスマガジンに掲載されたことは良い話だと思う。
- ・路線バスで旅をするテレビ番組が増えてきた。楽しい乗り物として紹介されてきたと思う。
- ・金銭消費ではなく時間消費ということが重要ではないかと思う。バスの時間に合わせた行動。社会の仕組みに対応していく。委員のみなさんには、生活の中で話題にしていきたい。

##### ○森田委員（議会議長）

- ・議会では、行政報告会を月1回開催している。バス事業については、ルート変更、地域交流センターの停留所設置の件など、議会でも議論していることを報告しておきたい。
- ・事務局の利用促進に対する努力を理解しています。議会も応援したい。

##### ○小縣委員（長尾部長）

- ・高齢化社会では、公共交通は絶対に必要。便数を増やす、料金を安くするなど、考えることは多いと思うが、地域に愛されるバスを継続してもらいたい。

##### ○小野委員（大足区長）

- ・初めて参加した。自分は若い感覚でいて、バスの利用に気持ちが向いていなかったが、理解できた。議論したことを地域に持ち帰り、話をしたい。利用につながるような活動を進めたい。

○田中委員（富貴地区区長会長）

- ・会議に参加してようやく分かった。地元も知らないことが多いと思う。我々がPRしていくと良いと感じた。個人的には孫と利用したことがあり、楽しかった。PRしていきたい。

○安全タクシー（代理）

- ・停留所を増やしたほうがよいという意見がありました。タクシー業界は、従業員不足という問題があります。
- ・ルート変更をしました。本日までの利用は115人で新記録を達成した。たぶん今月は120名くらいの利用があるだろう。
- ・タクシーを呼べばすぐ来てくれると理解されていますが、実はちがう。なんとかこなしている状況で朝夕時間帯は忙しい。無理のない利用をしてもらうように、あらかじめ予約をお願いします。

○伊豆原座長

- ・このように直接発言してもらわないと実態が理解されない。バス、タクシーの運転手不足は全国で問題。利用する側もうまく利用する工夫が必要であろう。上手に使うための努力が必要だということを理解ください。

○山田委員（タクシー協会）

- ・事業者からの指摘はそのとおりです。
- ・協会の立場を離れて個人的意見を申し上げたい。赤、青ルートは、よくできた仕組みだと思っている。役場での接続し、ネットワークを形成している。
- ・上り下りの運行は理想ですが、鉄道もあわせて利用すれば便利かもしれない。駅にはタクシーがとまっている。委員同士で研究していくことが重要だろう。

○白木委員（愛知運輸支局）

- ・タクシー事業者から意見があったが、運輸業界全体として運転手は不足している。事業者は、儲けていない。苦しい中で対応している。そんな中で、安全第一で運行しなければならないが、軽井沢で大きな事故があった。運転手の雇い方に問題があった。税金を投入しているので安い方がよいというが、安全も大切だろう。
- ・この地域は、交通網形成計画を策定した。地域のまちづくりも考えて、策定していただいている。少し不便なところがあるかもしれませんが、公共交通を上手に使ってもらいたい。

○勝田委員（知多乗合株）

- ・みなさんで決めた事業を安全に運行する立場です。十分議論したことを安全第一に運行したい。利用者のところをつなぎとめるのは運転手の仕事として送り出したいと思う。

○盛林委員（愛知県交通運輸産業労働組合）

- ・組合の考え方として、公共交通を乗って残そうと言っている。地方では、なくなってしまうことが危惧される。地域の意見をいかに反映させるか、いかに残すかを議論していただきたい。

○伊豆原座長

- ・意見ありがとうございました。
- ・みなさん話されたように、みんなで良いものをつくろうと思いで来年も協議を進めたい。



## 4. 閉会

○初山町長

- ・長時間にわたり協議ありがとうございます。
- ・作業部会を開き、ルート、運営方法など議論していきたい。
- ・65歳以上の免許返納者にはバス等を2年間無料で利用できる優遇制度がある。皆さんご存知でしょうか。この制度もPRしていかないといけないですかね。
- ・われわれのバスが、バスマガジンに掲載されました。
- ・事業に対するご意見やご質問について、いつでも良いので事務局にご相談ください。
- ・本日は、長時間にわたりありがとうございました。

○事務局

- ・以上を持ちまして終了します。ありがとうございました。

以上